2022　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義
科　目　名	運動療法学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	機能訓練室
担当教員	山本　真吾	実務経験とその関連資格	理学療法士として、医療機関・福祉機関・教育機関で従事していた			

《授業科目における学習内容》

理学療法学の成長・発展に伴い、理学療法士に求められる知識・技術が広範かつ深淵になる中で、その中核をなす運動療法の基本について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

運動療法Ⅰ 第2版(神陵文庫)
配布資料

《授業外における学習方法》

授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。

《履修に当たっての留意点》

教科書および配布資料を中心に講義を行います。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動療法の歴史・定義・位置づけについて理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 運動療法の定義について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	運動療法の歴史・定義・位置づけ		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	結合組織・関節・骨格筋・神経系の構造と機能について理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 各組織の構造と機能について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	運動療法の基礎(1)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般的な組織・運動器の修復過程について理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 運動器の修復過程について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	運動療法の基礎(2)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	浮腫・痛みの発生について理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 浮腫・痛みについて復習する　30分
		各コマにおける授業予定	運動療法の基礎(3)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	力源による分類、筋収縮・弛緩の分類について理解する。	指定テキスト 配布資料(適宜)	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 筋収縮・弛緩の分類について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	基本的運動		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動療法機器の基本的な考え方や活用方法について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 運動療法機器の活用方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	運動療法機器		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域制限の有無や原因、拘縮の発生メカニズムなどについて理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 関節可動域制限の原因について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動（1）		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域運動に必要な基礎知識、適切な治療手技について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 関節可動域運動について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動（2）		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節可動域運動に必要な基礎知識、適切な治療手技について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 関節可動域運動について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動（3）		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力維持増強運動に必要な基礎知識や方法について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 筋力増強運動の方法について　30分
		各コマにおける授業予定	筋力維持増強運動（1）		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力維持増強運動に必要な基礎知識や方法について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 筋力増強運動の方法について　30分
		各コマにおける授業予定	筋力維持増強運動（2）		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力維持増強運動に必要な基礎知識や方法について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 筋力増強運動の方法について　30分
		各コマにおける授業予定	筋力維持増強運動（3）		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋持久力・全身持久力の評価や増強方法について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 持久力の評価や増強方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	持久力増強運動		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身調整運動、機能回復運動、リラクセーション運動の目的や方法について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) リラクセーション運動の方法について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	全身調整運動、機能回復運動、リラクセーション運動		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	協調性運動障害の原因、運動療法の目的や方法について理解する。	指定テキスト 配布資料（適宜）	(事前学習) テキストを読む　30分 (事後学習) 協調性運動障害について復習する　30分
		各コマにおける授業予定	協調性の改善		